

多素子SDD蛍光X線検出器システム

MADE IN JAPAN

多素子化と最適DSP処理により高計数、高感度を実現

SYSTEM

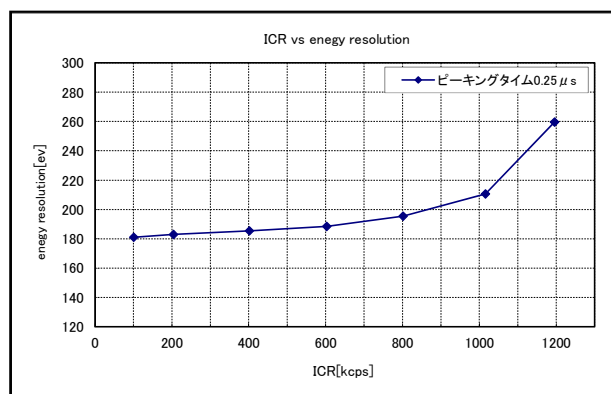
材料分野の構造解析などで用いられているX線吸収微細構造測定に必要な検出器、データ計測ボード、電源が一つになりました。高い計数率とエネルギー分解能を有したSDD検出器を多素子化し高感度化を実現しました。また、トランジスタリセット処理とDSP処理を適切に行うことで高計数測定が可能です。

(例: 7素子SDD検出器)

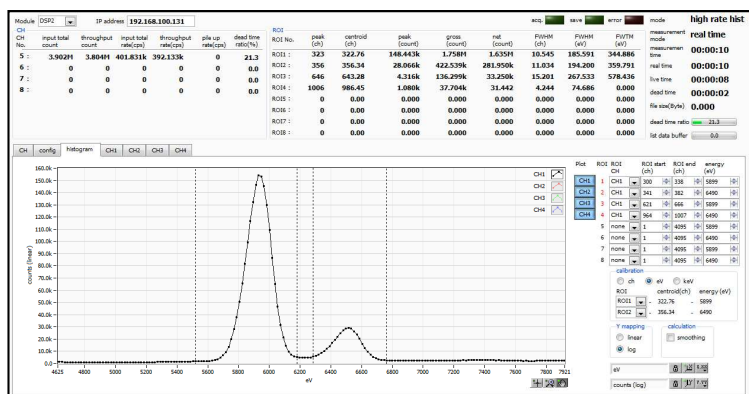


(左から, 100MADC, SDD電源)

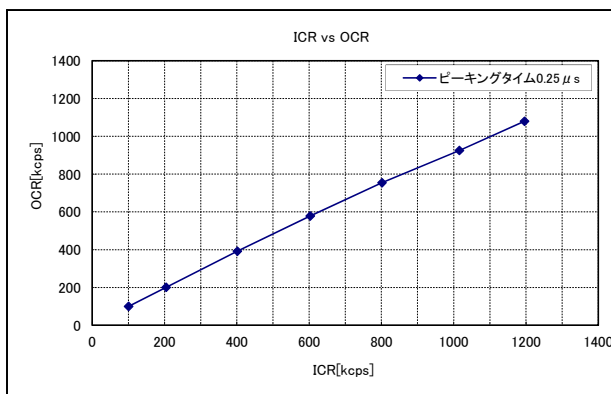
- 全素子面積 455mm²(65mm² × 7素子)
- 全有効面積 350mm² (collimated to 50mm² × 7素子)
- 機能 ヒストグラム、リスト、波形、ROI-SCA
- ADC 8CH 100MSPS 14bit
- エネルギー分解能 244eV@5.9keV MnK α
(ピーキングタイム0.25 μ s, 1000kOCR)
- SDD電源 -200V、 \pm 5V、+3.3V
- 通信 イーサネット(TCP/IP)
- 付属 アプリケーション、取扱説明書



ICR vs エネルギー分解能



400k ICR 185eV@5.9keV 0.25 μ sピーキングタイム
データ収集用アプリケーション例



ICR vs OCR

※ 記載内容は予告なく変更することがあります。

Techno AP

放射線・放射能測定装置 設計・開発・販売

株式会社テクノエーピー

TEL: 029-350-8011 FAX: 029-352-9013

Add: 〒312-0012 茨城県ひたちなか市馬渡2976-15

URL: <http://www.techno-ap.com> Mail: order@techno-ap.com

更新日 2015/08/03